

2026. 6. 30



山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 →



★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和8年7月7日（火）8月4日（火）11：00～11：20

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょしつ 3F） ○対象：幼児 ○定員：10組程度

★令和8年度小学生対象夏休み企画「寺子屋 タイムトリップ」

○日時：令和8年7月29日（水） 13：30～15：00（受付13：00～）

○会場：山口県立山口図書館 2階 第1研修室

○内容：図書館職員による絵本の読み聞かせ 文書館職員による古文書を使った簡単な体験型ワークショップ

○対象：小学生 *4年生以上は小学生のみの参加でも可 *小学生以外の兄弟姉妹等の同伴の参加も可

○定員：30名程度（同伴者の人数を含む。要申込み、先着順、定員になり次第締め切り）

○申込方法：7月24日（金）17:00までに、電子申請又は来館（HPの要項をご覧ください。）

○持参物：筆記用具 手ふき（ハンカチ・タオル等） 水筒等（水分補給用）

【新刊紹介】価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『まねてみよう』 青物横丁/作 講談社 2026.4 ¥1600

いろいろなかおをまねてみよう。くちをとがらせたかおに、はなのしたをのぼしたかお、ピーマンをきるとでてくるかお。まねたかおのまま、さいごは…。ユニークな表情のイラストだけでなく、後半には顔に見える写真も登場する新しい顔遊び絵本。絵本・児童書情報サイト「絵本ナビ」と講談社が共同で開催する「読者と選ぶ あたらしい絵本大賞」の第1回大賞受賞作を改稿し出版。

<絵本-3, 4歳から>

『りんちゃんのすてきなぼうし』 タカタカマリ/作 イマジネーション・プラス 2026.4 ¥1800

いいおてんきのひ、すてきなぼうしをかぶってそとにあそびにいったりんちゃん。はなばたけをあるいているとき、うしろからいたずらっこのはるかぜがやってきて、ぼうしをたかいきのえだにひっかけてしまう。ちかくでみていたくまのこが、きにのぼってぼうしをとってくれたけれど、こんどはくまのこがおられなくなって…。思いやりと勇気の連鎖が結んだ友情に心温まる絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『ほんをよむいぬ』 キム・ミノ/さく わたなべなおこ/やく 303 BOOKS 2026.4 ¥1800

いぬのワンワンは、「じ」をべんきょうするかもぬしのユニをとなりでみているうちに、じぶんも「じ」をおぼえたことにきづく。ほんのおもしろさをしり、むちゅうになるワンワン。あるひ、ママのほんをこっそりよんでいるところをユニにみつかってしまうが、ユニはワンワンがもっとたくさんほんをよめるようにしてくれて…。作者が自身の飼った犬の姿から想像して描いた絵本。

<絵本-小学校低学年から>

『みてごらん、こんなめちやくちやにして!』 劉旭恭/さく 中村加代子/やく 工学図書 2026.4 ¥1800

ひまでしかたがない大統領は、部長のオフィスをのぞいてみることに。書類だらけでしっちゃんめっちゃかなへやをみて、おおきな声で「みてごらん、こんなめちやくちやにして!」という、きぶんはすっきり。しかしそのことばは、やがておもいがけない形で大統領にかえってくることになり…。同じ台詞が次々と連鎖していくユーモラスな展開の中に痛快な風刺を織り込んだ絵本。

<絵本-小学校中学年から>

『ガージェー先生 対馬丸事件を生きぬいた少女の物語』 たじまゆきひこ/作 童心社 2026.4 ¥2000

やましろひろ子は戦時中、本土へ疎開する途中で魚雷をうけた船「対馬丸」から生きてかえった数少ない子どものひとり。敗戦後、アメリカしはい下の沖縄でけんめいに勉強し、ついに先生になるというぞみをかなえて…。対馬丸事件当時9歳だった実在の生存者をモデルに、反戦への強い思いを込めて一人称で半生を語る絵本。ガージェーは頑固な人・私の強い人を指す沖縄の方言。

<読み物-小学校低学年から>

『まゆとごちそう春夏秋冬』 富安陽子/作 降矢奈々/画 福音館書店 2026.4 ¥1800

やまんばん山には、せいいたかのつぼのやまんばん母さんと娘のまゆが住んでいた。山すその村に住むまゆの友達啓太も手伝

って、みんなでおいしいごちそう作り。春夏秋冬と移り変わる季節の中でくり広げられる、やまんば山の7つのお話。物語に登場する11の料理レシピを掲載し、大人と子どもが一緒に楽しめる。『やまんば山のモッコたち』（初版1986年）から40年ぶりの新作。

<読み物—小学校中学年から>

『あの子は一番』 朝比奈あすか/作 石山さやか/絵 福音館書店 2026.4 ¥1700

4年3組の安東あかりは成績優秀で友達も多い。3年生の時の転校生青山真琴と同じクラスになったあかりは、何でもできる真琴を意識するあまり、仲のよい友達と真琴の悪口を言い合う。やがて、そんなあかりに対するいじめが始まるが、つらい毎日を救ってくれたのは…。いじめる側からいじめられる側になったあかりの苦しみ、思い悩む心の動きをありのままに描く物語。

<読み物—小学校高学年から>

『ぼくのいうことを、きかないぼく』 柴野理奈子/作 中田いくみ/絵 トウレット当事者会/監修 ポプラ社 2026.5 ¥1600

小学6年生の駿は、体が勝手に動くのを止められずに悩んでいた。幼なじみの遙斗は、駿の気になる行動がトウレット症によるものではないかと考え、友達のワタルとともに駿のためにできることを実行する。関心をもって相手のことを知ろうとすることで、生きやすくなり救われる人がいる。自分の知らなかった世界について、理解を深めるきっかけになる1冊。

<読み物—中学生から>

『13人の魔女への扉』 長谷川まりる/著 理論社 2026.4 ¥1700

13歳の少女スーが暮らす村には不思議な力を持つ「魔女」がいる。ある日魔女の家に村人が集められ、スーは突然13番目の魔女として指名される。魔法で過去に飛ばされ歴代の魔女と対話していくスーだが…。初代魔女がもたらした今も村で栽培される果樹の秘密、魔女と呼ばれた女たちが語る村の過去と彼女らの思いこふれ、戸惑いながらも未来を見据えていく少女の成長と継承の物語。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『いっちゃんになるとがすいとーと 孫正義ものがたり』 井上篤夫/文 松本春野/絵 実業之日本社 2026.4 ¥1800

まさしくんは、何でも一番になるのが好きなみんなのリーダー。学校の先生になりたいという夢をもつが、当時は家族のルーツが韓国にあるという理由で、就くことのできない仕事があった。悔しさをバネに勉強し、「自分のいっちゃん大切なもん」を見つけていく物語。ソフトバンクグループ代表の孫正義氏の幼少期から青年期のエピソードをもとに描いた伝記絵本。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『本ってこんなにおもしろい！ #木曜日は本曜日 presents ぼくの、わたしの、「ほんがすき！」のワケ。』 主婦と生活社/編 主婦と生活社 2026.5 ¥1300

本好きな著名人の本にまつわるエピソードや人生を変えた本を紹介。書店員がおすすめる61冊も、店頭で使われるポップとともに紹介する。東京都書店員商業組合のプロジェクト「#木曜日は本曜日」が運営するYouTubeチャンネル「東京の本屋さん〜街に本屋があるということ」でのインタビューを収録。子どもの年齢や成長に合った本選びの参考になる1冊。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『後世に伝えたい 世界の名作おとぎばなし』 アナ・ラング/イラスト ヴァレリア・マンフェルト・デ・ファビアニス/編著 金原瑞人、安納令奈/訳 原書房 2026.6 ¥2400

世界中で語り継がれてきた昔話や民話70編を色彩豊かなイラストとともに紹介する。その国の風土ならではのお話や教訓に富むお話など、広い世界を旅するように物語を楽しむ。イタリア語の原書の英訳をもとにした重訳で、読者に語りかけるやさしい語り口の物語集。小学生以上を対象にした読み聞かせに向く。異文化理解や国際交流のきっかけづくりにも役立つ1冊。

<ノンフィクション—中学生から>

『学校を休んだ日は本をひらいて』 清藤子/著 主婦と生活社 2026.5 ¥1400

自分や自分の子どもが不登校や学校が苦手だった経験がある、作家や絵本作家、水泳選手、芸人、マンガ家など様々な職業の11名の著名な大人たち。彼らの当時の思いや支えとなった本を豊富な写真とともに紹介。また図書館等の「ホンの居場所」もあわせて掲載。学校になじめない子や周囲の大人にあたたく語りかけ、本の世界や家・学校以外の居場所と出会うきっかけになる1冊。

<研究書>

『子どもを描く 林明子の世界』 福音館書店編集部/編・著 福音館書店 2026.4 ¥2400

『はじめてのおつかい』『こんとあき』など、長く読み継がれる作品を描いてきた絵本作家・林明子。林が染織志に寄せたエッセイやインタビュー記事のことは、絵本のラフスケッチなども集めて、作品制作の秘話や舞台裏を紹介。年譜と作品アルバムあり。林の幼い甥や姪たちが、作品の子どものモデルになっていたエピソードや写真も掲載。絵本作家の思いこふれることのできる1冊。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

